

## ご議論いただきたい事項について

### 1. 議論の前提

- 供用済みのエリアが含まれる文化交流ゾーン、海岸ゾーンを主な議論の対象とすること
- 予算、管理体制面など、取り巻く状況が厳しくなっている状況を踏まえること
- 公共性は欠かさず、安全に利用できること、また国営公園として、モデル的な取り組みを行うこと

### 2. ご議論いただきたいこと

#### (1) (仮称) 活性化方針そのものについて

- 事務局としては、5年程度を目途とすることを考えているが、何年先を見越したとりまとめとすることが効果的か
- 事務局としては、将来像と主要な取り組みを記載することを考えているが、(仮称) 活性化方針をとりまとめる上で、記載の過不足はないか。
- (仮称) 活性化方針に基づく取り組みの進捗をどのようにモニタリングすべきか

#### (2) 国営明石海峡公園淡路地区について

- ①この公園の有する価値
  - 例) 海の眺望・花修景・大型遊具・イベント開催などもできる広い芝生、周辺施設との関係性
- ②この公園の抱える課題とは
  - 例) 施設の老朽化、樹木の管理状況、回遊性の不足、効果的な広報
- ③価値の最大化、課題の克服のための方針とは
  - 例) 施設の集約(止める、減らす)、施設をうまく使う工夫、園内外関係者間の連携強化、国営公園として実施すべき方策
- ④③を実現するための対応策とは
  - 例)
    - 施設の集約や、集約時の留意点
      - 水系施設の縮小化、遊具の集約、繁茂する樹木に関する対応、再整備時の材料(材料のライフサイクルコスト、植栽する樹種)などの確認
    - 施設をうまく使う工夫
      - 強みである海や花修景を活かす工夫(ルート設定や見せる時間の見直し)、来園者層の再確認(年齢層、ペット利用)、モビリティの活用
    - 関係者間の連携強化(園内外)
      - 大学、博物館、ボランティアとの連携について、更なる連携の拡大
    - 公共性の確保の観点で留意すべきことや、その展開に当たって出来る工夫
      - ・ダイバーシティ&インクルージョンの確保、ユニバーサルデザインの強化
      - ・自然・景観の維持向上として、景観軸の再確認や環境保全
      - ・防災拠点機能の確保として、ハード面の確保や訓練実施など